

柏市ふるさとづくり協議会について

ふるさと運動

- 柏市では、昭和40年代以降の急激な人口増加・都市化により、新旧住民のコミュニティ形成や郷土意識の希薄化が課題となる中、昭和50年代中頃より、「ふるさと運動」と名づけられたコミュニティ施策を展開しました。これは、新しく移住した人にとって、「ふるさと」と思えるようなまちにするという目的をもったものです。



桜まつり(あけほの山公園)

なります。

更に、このまちづくりは、市民一人ひとりの自覚と参加から始まり、地域をあげて推進するには、お互いの協働と、しっかりと地域に根をおろした運動の展開が必要となります。

社会の発展につれ、地域社会の都市化、生活様式の多様化、経済社会の変化などが私たちの生活環境を変え、いろいろな問題を発生させています。

2 ふるさとづくりはなぜ必要か
ふるさと運動はなぜ必要になったか

『みんなで心のかようまちづくり
ふるさと運動』より 1982

ふるさと協議会と町会

各地域の活動者から成る「ふるさと協議会」と町会の大きく分けて2種類の自治組織が存在しています。

1組織

ふるさと協議会
連合会

20組織(地域)

ふるさと協議会

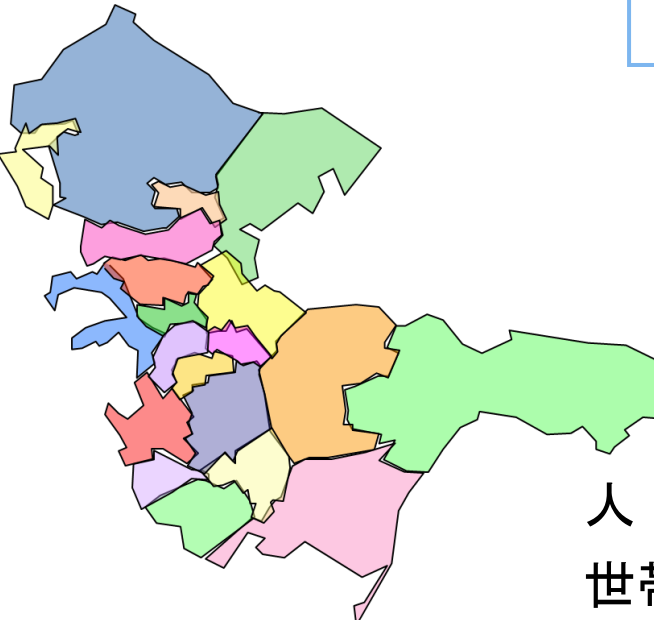
ふるさと協議会

296組織

町会

自治会

区



人口 : 422,385 人
世帯数 : 183,893 世帯

町会等加入 : 124,326 世帯
加入率 : 67.61%

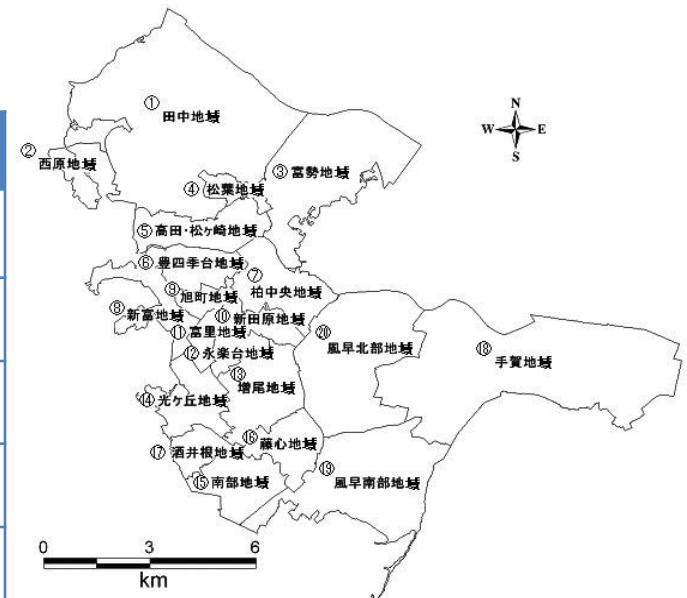
ふるさと協議会とは

ふるさと協議会は、昭和55年に設立され、地域の身近な近隣センターを活動拠点として、行政と共にふるさと運動の推進及びコミュニティの育成を行う団体として各地域に設立された組織に端を発しています。

各協議会は、町会等の役員のほか、民生委員・児童委員など多様な構成員からなる組織です。

町会等の枠を越えた地域コミュニティづくりの中心的な担い手として、広報紙の発行、夏祭り・文化祭の開催、環境・保健福祉・防災など地域課題との取組など多岐にわたった事業と取り組んでいます。

地域	活動事例
高田・松ヶ崎地域	防災推進連絡協議会
富勢地域	八朔相撲・こども食堂
新富地域	新富げんきなひろば
豊四季台地域	東大との地域包括ケア
手賀地域	エコ・ウォ〜クin手賀



ふるさと協議会の役割

～町会の枠を超えた地域コミュニティづくりの担い手～



地域に合った活動
を検討したい



ボランティア活動者

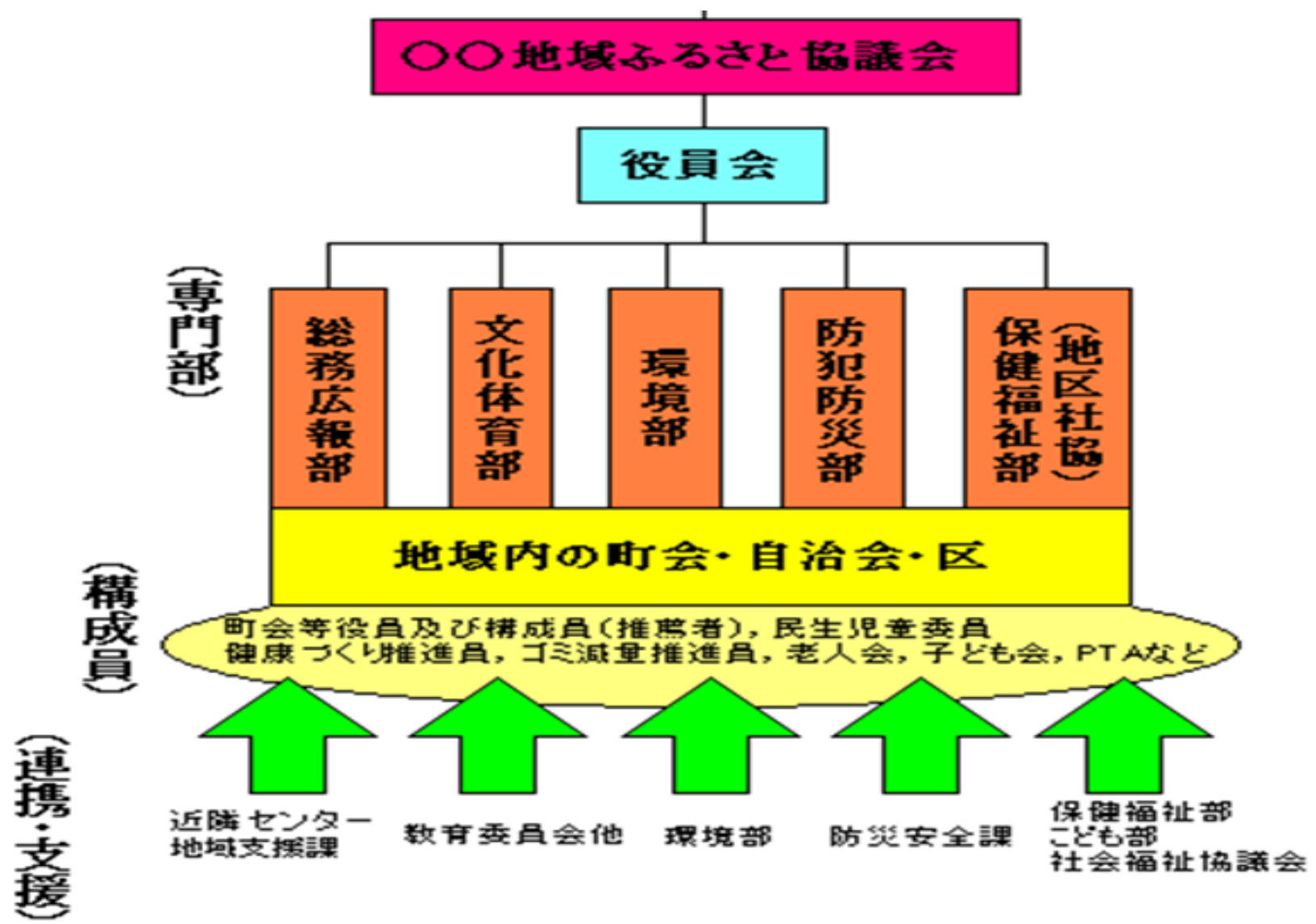


他の町会とも意見
交換したいな



町会防災担当者⁵

ふるさと協議会組織構成



ふるさと協議会の主な活動

町会・自治会等の枠を越えて、地域コミュニティづくりの中心的な担い手として、近隣センターを拠点に多岐にわたった事業に取り組んでいます。

- 地域課題の解決,
- 広報誌発行
- 視察研修
- 防災訓練
- ゴミゼロ運動
- 夏まつり
- 運動会
- 敬老会
- 文化祭等

活動



(田中地域ふるさと協議会のたなかっ子祭り)



(松葉町地域ふるさと協議会の防災訓練)

ふるさと協議会連合会とは

○概要

ふるさと意識の高揚及び地域課題の解決などを目的に、意見・情報の交換、地域づくりの推進を行っている。

また、各ふるさと協議会の会長から構成され、役員は会長1名、副会長2名、監事2名となっている。

○主な活動

	詳細
役員・定例会の開催	役員会：会長が必要と認めるとき 定例会：原則年4回
地域づくり推進委員研修	市と地域のパイプ役、課題の洗い出し、相談役など地域によって役割は様々。 昨年度：アンケート調査法、マップづくり 今年度：町会加入ポスター製作中
視察研修	山梨県甲府市にて意見交換会・施設見学
地域リーダー研修	「次世代の地域リーダーが地域づくりに必要なこと」をテーマに講演会実施
町会加入チラシ パンフレットの作成	カシワニを使用し、親しみやすさを基に作成

これからのふるさと協議会

●平成30年度ふるさと協議会連合会活動指針

ふるさと協議会の変革

～少子高齢化，元気な高齢者の年々増加，町会・ふるさと協議会管轄域内の安全・安心活動環境の複雑化，隣接町会・ふるさと協議会の協働化の必要性拡大，山積する課題の中，時代に即したふるさと協議会の在り方～